

今月のよっしー

「憧れる」チカラ

「先輩スゴイです！カッコいいです。」と1年生が授業の支援に来てくれた4年生（クリクラI）に対して述べた感想です。実際の患者に対応する場面を説明してくれる上級生の姿に感動していました。教育方法の工夫で一皮剥けることを実感しました。また地域包括ケア実習でも現地の指導医の姿やスタッフの皆様の活躍に感動する学生が毎回多数出ております。彼らの琴線（heart）に触れる体験をプロデュースしていただけて本当に感謝です。皆様のご理解とご協力の賜物です。本年も誠にありがとうございました。来年もよろしくお願い申し上げます。



教授 吉村 学

連載企画

臨床実習病院・診療所紹介 「野尻中央病院」

野尻中央病院 院長 園田 泰三 先生

当院は昭和40年に開院、現在80床の医療療養病床を有し、急性期加療が終了したものの引き続き医療提供必要度の高い慢性期の患者様を主として医療圏外からも多数受入を行なっております。

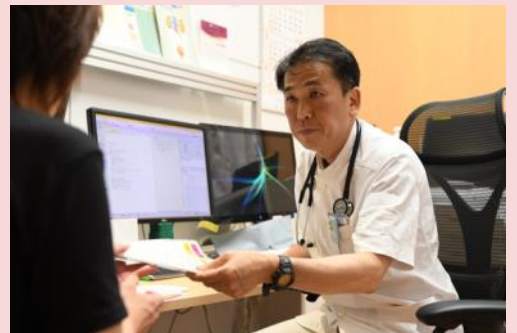
さらには年間50件程度救急搬送にも対応し、急性期医療も行なっております。



また在宅医療にも力を入れ、訪問診療をはじめとして訪問看護・通所サービスなど在宅部門と連携しながら地域包括ケアシステムへの取り組みを行なっております。

地域包括ケア実習におきましても、在宅医療の現場を知っていただくべく在宅部門を中心に経験をしていただいております。

「田舎だから」ではなく「田舎ならではの強みを活かした取り組みを少しでも感じていただけたら幸いです。



つのだより

～都農町の寄附講座「地域包括ケア・総合診療医学講座
(通称：都農町まるごとケア講座)」からの定期的なお知らせ～

12月10日、相談支援包括化ケース会議を行いました。都農町国保病院と都農町役場とをオンラインシステムでつなぎ、当該家庭の関係者が健康面だけでなく生活面や学校生活などに対してもより良い支援ができるよう意見交換しました。

この取り組みは、ご家族の体調や日常の心配事・児童の学校での様子や出来事など、普段それぞれの機関や事業所で認識していた課題を共有することで解決方法を見出そうという狙いから行われたものです。

多職種でチームをつくり、ご家族が求める安心のためにこういったことができるか、今後定期的開催し、連携を深めて解決を目指します。



今年度の講義「地域医療と社会」が終了しました。

1年生の地域枠・地域特別枠の学生を対象とした「地域社会と医療」の講義は今年は全8回を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策で今年度の講義様式がかなり変更になりました。自宅待機期間と重なった5月の初回は残念ながら中止となり、第2回目は事前収録で学生はオンデマンドで視聴する形式、それ以降は対面形式で講義を行うことができました。

この講義は、多職種から講義をしていただくことでチーム医療や多職種連携の重要性を学んでいただき、先輩医師から講義をしていただくことで少し近い将来、目標としてほしい将来について深く学んでいただきました。

【第2回(5/21)】「地域を知る、地域医療について考える」

担当：桐ヶ谷大淳先生（宮崎大学 地域包括ケア・総合診療医学講座）

【第3回(6/18)】「女性医師の視点から考える」

担当：新森加奈子先生（宮崎市立田野病院）、川野綾子先生（椎葉村国民健康保険病院）

【第4回(10/7)】「先輩研修医からの熱いメッセージ」

担当：坂口大介先生（県立宮崎病院）、坂本遊先生（古賀総合病院）

【第5回(10/21)】「地域に根差した取り組み」

担当：坂口和也氏（社会福祉法人ときわ会/地域医療を考える会）、原 秀直氏（たでいけ至福の園）



▲桐ヶ谷先生



▲川野先生、新森先生



▲坂本先生、坂口先生



▲原さん、坂口さん、吉村先生

【第6回(11/6)】「在宅医療の現場から」

担当：郡山晴喜先生（ホームクリニックみまた）、栗山誓子氏（三股町訪問看護ステーションなごみ）

【第7回(11/18)】「総合診療の様々なカタチ」

担当：松浦良樹先生(古賀総合病院)、眞川昌大先生(宮崎生協病院)、早川学先生(地域医療・総合診療医学講座)

【第8回(12/9)】「総括」

担当：吉村学先生（地域医療・総合診療医学講座）、医学科4年生4名



▲郡山先生(右)と栗山さん



▲眞川先生、松浦先生、早川先生



▲吉村先生と医学科4年生4名



▲グループワークの様子

学生からは、「今までの地域社会と医療の授業を通して、将来、宮崎県の医療を担っていくという実感が湧いた」、「様々な人の話を聞いて、将来宮崎の医療を支えていこうととても感じ、刺激の多い講義だった」、「地域との関わり方について理解を深めることができた。特に施設を運営されている方のお話を聞いたとき、地域医療を専門とする医師が1人いるだけで地域の方々の安心感が大きくなるという考え方に感銘を受け、地域に何らかの形で貢献できる医師を目指していきたいと思った」などの感想がありました。

将来のことはまだ決まっていない学生が大多数だと思いますが、地域枠・地域特別枠として入学したことをプラスに考えて、将来自信をもって「宮崎県の地域医療を支えている！」と言えるように、日々精進していただきたいと思います。また、当講座もしっかりと学生をサポートしていきたいと思います。

講義をしていただきました皆様、その他関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

宮崎大学 医学部 地域医療・総合診療医学講座

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200 TEL:0985-85-9809 FAX:0985-85-9805

E-Mail : chiikiiry@med.miyazaki-u.ac.jp URL <http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/community-medicine/>

